



東京部会(第 85 回)

日 時: 2016 年 9 月 2 日 (土) 14:00-16 : 30

場 所: 日本大学経済学部本館 2 階中 2 会議室

参加者: [順不同・敬称略] 篠原総一(京都学園大学)、西村理(前同志社大学)、野間敏克(同志社大学)、絹川温子(京都学園大学)、加藤一誠(慶應義塾大学)、石山晴美(東京証券取引所)、鈴木深(東京証券取引所)、杉田孝之(千葉県立津田沼高)、芦名伸明(埼玉県立飯能高)、升野伸子(筑波大学付属中)、杉浦光紀(都立秋留台高)、高橋勝也(都立武蔵高・中)、埴枝里子(都立府中東高)、梶ヶ谷穂(昭和音楽大学)、中沖栄(清水書院)、新井明(上智大学)、以上16名

【内容要旨】

(1) 夏の経済教室の内容の総括が石山晴美氏からあった。参加者数に関しては、名古屋は想定の範囲内、大阪は増加、東京は山の日の影響で日程をずらしたことで台風により参加者が減り、全体では昨年に比べて100名近い減少となった。また、どの会場でも経験年数が1~10年の参加者が最も多く、若い先生たちの研修の場になっていることが特徴とのことである。また、東京などではリピーターも多いとのこと。

内容に対する評価では、役に立った、やや役に立ったがほとんどで、質の高い講義、講演、また授業の参考になる実践報告であったといえよう。参加者のアンケート分析などを踏まえて、来年度の計画を進めてほしいとのことであった。

(2) 前日に行われた理事会で、大杉昭英理事(国立教育政策研究所)から寄せられた次期学習指導要領にむけての経済教育の課題三点が、新井から紹介された。

一点目は、主権者教育への経済教育からの貢献で、手続きに関する教育だけでなく政策を選択できるようになることが主権者教育の次の課題になるので、経済教育からは、特に経済政策を選択できる生徒の育成を目指す取り組みをしてほしいということである。

二点目は、必修になる地理への貢献である。高校地理ではGIS(地理情報システム)の導入が予想されており、経済的な内容が相当含まれてゆくの、その取り組みをしてほしいということである。

三点目は、経済の学習でどこまで学問的な厳密さを要求してゆくの、必要なかの検討をしてほしいということである。アメリカの理科教育などでおこなわれているキッチンサイエンス的なもので経済教育はよいのかどうか、その吟味をしてほしいということである。

併せて新井から、宮尾尊弘先生(筑波大学名誉教授)がYou Tubeにアップされた「ディベートの手引き」が紹介された。

(3) 実践報告は、杉浦光紀先生の「現代社会と原発」の授業が報告された。

この実践は、高校三年生の「現代社会」での実践である。原子力発電の論点を理解させ、原発などの社会問題に関して幸福・正義・構成の観点から、自分の意見を表明できることを目指した授業実践で、現代社会の諸問題の「科学技術と現代社会の考え方」のなかで取り扱われている。

授業は、1時間目に、原発問題に関する知識の整理を行って最初の意思決定を行った後、2時間目に、「これからの原発の話をしよう」というテーマで、グループごとにシグソー学習法で学習をすすめ、全体で内容を共有したうえで、グループの代表がグループでの結論を発表、振り返りでは個人で意見をまとめるという流れで実施された。授業の紹介とともに、生徒の反応やそこからみられる問題点なども紹介された。

討論では、方法としてのシグソー学習法の内容と意義を確認したうえで、内容に関する検討を行った。問題となったのは、グループでの意思決定の場面で、この種の意見が分かれる問題でグループで合意形成をさせることへの危惧が表明された。それに対しては、それを言ったらTPPなどの問題だって同じで、その種の問題を議論し



ないというのはあまりにも腰の引けた対応だという意見も出され、テーマ設定に関する議論になった。現実には保護者や外部からの圧力はあるという意見もだされた。

また、合意形成の練習であるとねらいをはっきりさせること、資料として代替案を含めたものをいれておくこと、時間的に生徒の変容などをじっくり見るためにもう少し確保した方がよいなどの意見も出され、活発な討議がおこなわれた。意欲的な実践であり、ジグソー学習法の紹介も含めて、他の部会でも検討することで討論を終了した。

(4) 教材の紹介が二本あった。

一つは、杉田孝之先生の「経済の基礎概念から設計する有権者教育」である。

これは、大杉先生が提起した課題にこたえる意味を持つ実践の一つであり、選挙は「未来への選択」として、若者はなぜ投票にゆかないのか、その結果がどうなるか、それを超える仕組みを考えるには何がポイントになるかという流れの授業構想が説明された。政策選択では、社会保障制度、シルバーデモクラシーとよばれる仕組みの再編がテーマとなり、かつ、選挙制度の改革まで視野に入れた内容となっている。

この授業構想に基づく、公開授業が9月23日に津田沼高校で行われるので、授業の成果等は次回以降にさらに紹介されることになった。

もう一つは、新井の中等教育学校6年生(高校三年生)向けの選択「政治・経済」の経済部分の授業の全体像の紹介である。受験生向けの講座における受験対策をすこしこえた資料や問題提起がされている部分が紹介されたが検討の時間をとることができなかった。

(5) 今回の東京部会では、土曜日実施でもあり参加者が多く、また、新しい参加者とその実践報告がよせられたこともあり、活発な議論がされた。新学習指導要領は2020年からスタート(小学校から)する。その意味で、経済教育としてどのようにそれにこたえてゆくか、新たな課題が提起された部会であったといえよう。

以上 記録と文責(新井)

次回開催予定:10月27日(木)19:00~21:00。場所は日本大学経済学部会議室を予定。議題は、教材に関するディスカッションほか。なお、次々回は11月17日(木)19:00~を予定。12月部会は、12月27日(土)冬の経済教室の終了後、慶応義塾大学で開催を予定、